

2018年度 2年 古典B シラバス

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象学科	指導者名
古典B	2単位	2	全	必修	普通科	中石 エリ子 印 赤嶺 昌代 印 仲村 優子 印 仲松 綾子 印

1. 概要及び目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

2. 成績評価

成績の評価は下記の資料に基づいて総合的に行う。

- 定期テスト
 - 1, 2学期には中間考査・期末考査・実力テスト、3学期には学年末テストを実施する。
 - 中間・期末考査は、授業内容を主にし自主学习課題も範囲に加え、応用を含めて出題する。
- 小テスト
 - 授業の中で適宜、小テスト（漢字・古典文法など）を実施。語彙力を評価し、学習意欲の向上を図るとともに学習習慣や姿勢も観察し、指導する。
- 提出物
 - 授業の進度に応じ、自宅学習向けに課したものや、長期休業中の課題の提出。
 - その他、感想文・ノート等の提出。
- 授業
 - 授業の出席状況・発問への主体的な姿勢を評価する。

3. 使用教科書・教材

- 教科書：『精選現代文B』（三省堂） 第一部
- 副教材：『ビジュアルカラー国語便覧』（大修館書店）
- 副教材：『やさしくくわしい古典文法』（尚文出版）
- 副教材：『みるみる覚える古文単語 300』（いいずな書店）

4. 授業の展開と形態

- 普通科 10クラス（9組・10組は特進クラス）。1組～8組は一斉授業、9・10組は2クラス3展開。

5. 学習方法

- 年度初めに古典の学習法についてガイダンスを行う。
- 授業は進度表に沿って行ない、適宜課題や小テストを実施して学習内容の定着を図る。
- ノート・課題等を適宜提出させる。

6. その他（履修上の注意）

- 成績評価は、定期テストを重視するが、授業態度・提出物の状況が悪い生徒については厳しく対応する。必要に応じて保護者に通知する。

7. 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古典を深く読み、心をこめて読む。	古典の文章を、その文脈や背景を踏まえて読む。	古典の文章が、どのような文化や思想を反映しているかを理解する。

8. 学習計画及び評価方法

第 1 学 期					
月	教材	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準
4	「季札掛剣」	比較的文章と物語を対照的に読み、短時間で内容を把握し、漢文の表現や人物の行動を考察する。	用と比喩の効果を、文章の構成や表現の工夫を踏まえて考察する。	関心・意欲・態度	話の登場人物の行動や心情を、その背景や状況から読み取る。
				読む能力	登場人物の考え方を、文章の表現や構図から読み取る。
5	「漱石枕流」	比較的文章と物語を対照的に読み、短時間で内容を把握し、漢文の表現や人物の行動を考察する。	用と比喩の効果を、文章の構成や表現の工夫を踏まえて考察する。	関心・意欲・態度	話の登場人物の行動や心情を、その背景や状況から読み取る。
				読む能力	登場人物の考え方を、文章の表現や構図から読み取る。
6	「鴨方丈記」	筆者の観察眼や表現の工夫を、文章の構成や表現の工夫を踏まえて考察する。	用と比喩の効果を、文章の構成や表現の工夫を踏まえて考察する。	関心・意欲・態度	内容や状況を踏まえて、筆者の観察眼や表現の工夫を読み取る。
				読む能力	筆者の無常観や人生観を、文章の表現や構図から読み取る。
7	漢詩(近体詩)	情景や感情を、漢詩の表現や構図から読み取る。	用と比喩の効果を、文章の構成や表現の工夫を踏まえて考察する。	関心・意欲・態度	漢詩の情景や感情を、漢詩の表現や構図から読み取る。
				読む能力	漢詩の情景や感情を、漢詩の表現や構図から読み取る。
7	「伊勢物語」	登場人物の行動や心情を、文章の表現や構図から読み取る。	用と比喩の効果を、文章の構成や表現の工夫を踏まえて考察する。	関心・意欲・態度	物語の展開や心情を、文章の表現や構図から読み取る。
				読む能力	文章や和歌の表現や構図から、登場人物の行動や心情を読み取る。
第 2 学 期					
月	教材	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準
9	「司馬遷記」	話の展開や人物の行動を、文章の表現や構図から読み取る。	用と比喩の効果を、文章の構成や表現の工夫を踏まえて考察する。	関心・意欲・態度	著者の逸話や内容について興味を持ち、内容を深く読み取る。

10		歴も場を 史し人読 かる物み 持さの味 つや魅わ お登り方 つや魅わ	たてこ なだこ 遷つる 爰かす の公告 をて報 しつと 較にこと ウ人え文 扱こ	読む力 話と心 情を 展し 開に を登 理解 する 人物 の	話の展 開を 理解 する と心 情を 展し 開に を登 理解 する 人物 の
	清言草	筆者も 者もと を宮い	ウ人え文 扱こ	関心・ 意欲 内を容 考生す をを 踏男 まを え立 て時 筆者 のよ 者言 う	内を容 考生す をを 踏男 まを え立 て時 筆者 のよ 者言 う
	紫式部 源氏物語	登情動 場をに 取に め高	ウ人え文 扱こ	関心・ 意欲 物語と 語知	物語と 語知
11		心行読 のやと 物深 を心 のやと 物深 を心 のやと 物深 を心	たてこ なだこ 遷つる 爰かす の公告 をて報 しつと 較にこと ウ人え文 扱こ	読む力 話と心 情を 展し 開に を登 理解 する 人物 の	話の展 開を 理解 する と心 情を 展し 開に を登 理解 する 人物 の
	納枕 少「子」	筆者も 者もと を宮い	ウ人え文 扱こ	関心・ 意欲 内を容 考生す をを 踏男 まを え立 て時 筆者 のよ 者言 う	内を容 考生す をを 踏男 まを え立 て時 筆者 のよ 者言 う
	紫式部 源氏物語	登情動 場をに 取に め高	ウ人え文 扱こ	関心・ 意欲 物語と 語知	物語と 語知
12		心行読 のやと 物深 を心 のやと 物深 を心 のやと 物深 を心	たてこ なだこ 遷つる 爰かす の公告 をて報 しつと 較にこと ウ人え文 扱こ	読む力 話と心 情を 展し 開に を登 理解 する 人物 の	話の展 開を 理解 する と心 情を 展し 開に を登 理解 する 人物 の
	原「辞 漁」	文展を 意開と 容を 取を	ウ人え文 扱こ	関心・ 意欲 文章と 想う	文章と 想う
	紫式部 源氏物語	登情動 場をに 取に め高	ウ人え文 扱こ	関心・ 意欲 物語と 語知	物語と 語知

第 3 学 期

月	教材	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準
1	儒家思想	儒家思想の 儒教と のり のり のり	で柄題な成章る ん事課々の文す 読たて様とり をつい、た 典もつし、べしめ 古をに定調表と 心と設を登ま 工関なを料をにこ	関心・ 意欲 個々の 相違を 理解し よう	個々の 相違を 理解し よう
				読む力 簡潔な 表現を 取り 取る	簡潔な 表現を 取り 取る
2	「和歌 十」	和歌の 特徴を 理解す る	で柄題な成章る ん事課々の文す 読たて様とり をつい、た 典もつし、べしめ 古をに定調表と 心と設を登ま 工関なを料をにこ	関心・ 意欲 和歌の 響きを 理解し よう	和歌の 響きを 理解し よう
				読む力 和歌の 特徴を 取り 取る	和歌の 特徴を 取り 取る
3	尾「行 芭蕉紀	芭蕉の 旅中を 理解す る	で柄題な成章る ん事課々の文す 読たて様とり をつい、た 典もつし、べしめ 古をに定調表と 心と設を登ま 工関なを料をにこ	関心・ 意欲 句々と 文意が 一体と なる	句々と 文意が 一体と なる
				読む力 芭蕉の 旅中を 取り 取る	芭蕉の 旅中を 取り 取る

